元街小が創立150周年

心1つに未来をつくる

2023年に創立150周年を迎えた市立元街小学校（工藤雅彦校長）＝中区山手町。同年11月25日には児童たちによる記念集会と式典・祝賀会が開かれた。地域一体となって行われた記念行事の様子と伝統ある同校の歴史を振り返る。

1年かけてお祝い

同校では「150年間の思いを一つに元街っ子～つなげよう！まちへ世界へ未来へ～」をスローガンに記念事業に取り組んできた。

23年6月には卒業生で油絵画家として活躍する大野愛さん＝人物風土記で紹介＝を講師に招き「しましまアートプロジェクト」と題した作品作りが行われた。ストライプをあしらった大野さん独自の手法「シマシマ画」をもとに、児童たちは花や虹など思い思いの絵を描き、長さ4・5m、横幅10mの大作を完成させた。

10月の運動会では、聖火リレーや4年生演技の「150」の人文字、4年ぶりに復活した全校競技兼横浜山手中華学校の5年生を招待した交流競技の大玉送りなど、節目にふさわしい演目が盛り込まれた。

11月には横浜を中心に活動している「音楽劇団まっかなホント」を招き、横浜にゆかりのある『赤い靴の絵本』『青い目の人形』を低学年、高学年に分かれて鑑賞。横浜の歴史や文化を知る機会となった。

児童企画の集会も

児童による運営委員会が企画や当日の司会進行を務めた記念集会が11月25日、同校体育館で行われ、全校児童で150周年を祝った。

集会では記念品＝写真＝が紹介されたほか、周年キャラクターである「もまっち」を活用し、児童考案のゲームや元街小に関する3択クイズが行われ「学校にあるヒマラヤスギの樹齢は？」などの問題に、児童たちは積極的に手を挙げ楽しんでいた。その後、学校の歴史を振り返る記念ムービーや、卒業生で俳優の谷原章介さんによるお祝いメッセージのサプライズ動画も。創立当初の校舎や元町商店街のモノクロ写真と現在の写真が映し出され、子どもたちは目を輝かせていた。

プログラム後半で、スクールソング『そよかぜ』を全校児童で合唱。港中学校＝中区山下町＝の吹奏楽部が駆けつけ、『学園天国』や映画アラジンの『ブレンド・ライク・ミー』などアンコールを含め計4曲を演奏。児童たちは手拍子をしたり、体を揺らしながら先輩たちの演奏に大盛り上がりだった。

運営委員長を務めた岩下琛さん（6年）は「先輩たちに憧れそれを目指し、自分たちも努力し後輩たちに伝え、さらに受け継いでほしい。それこそが学校の歴史や伝統であると実感できた。この思いを生かし、未来へつないでいこう」と話し、会を締めくくった。

地域とともに伝統守り

元街小学校の前身は、1873（明治6）年に設置された「三到学舎」と「明衛学舎」。2年後の75年、両校が合併して「元街学校」が設立し、3度の改称を経て1947年に現在の「横浜市立元街小学校」という名称になった。

中華街を学区に持つこともあり、81年に日本語学級（現・国際教室）を開設したほか、海外の学校との交流も。読み聞かせや校外学習ボランティア、地域の見守りボランティア、「保護者ができる防災」について考える会など、地域に支えられてきたという。

そんな歴史のある同校には、140年以上にわたり子どもたちを見守ってきた3本の古木がある。市から名木古木に指定されている「柿の木」「ヒマラヤスギ」「コルクガシ」は、子どもたちにとっては母校を象徴する名木だ。

記念式典・祝賀会も

11月25日の午後からローズホテル横浜を会場に行われた記念式典・祝賀会には、小林英二中区長や地元議員をはじめ、町内会、近隣の学校、同校PTAの新旧役員・教職員など地域や学校の関係者ら約150人が出席した。前半の式典では、工藤校長や学校運営協議会の武松昭男会長のほか、山中竹春市長が会場に駆けつけ、あいさつする場面も。歴代の校長や卒業生が多数参加し、盛大に催された。

式典後の祝賀会では、小菅佳美PTA会長が「本日の会をきっかけに学校や地域がまた一つになれたことを嬉しく思います」と、コロナ禍を経て無事会が開催できたことに感謝した。

会場では記念事業の活動報告が紹介されたほか、集合写真に記念ムービーなどを上映。アトラクションでは卒業生2人によるピアノとバイオリンの演奏が披露され、最後は会場全員で校歌を合唱し、幕を閉じた。地域から獅子舞が10体寄贈されたり、各テーブルで思い出話に花が咲くなど、地域のつながりや街の温かさを感じる会になっていた。

元街小の航空写真＝写真提供：㈱国際総合企画 横浜

元街小はなぜ「街」なのか？

地名だと「元町小」が正しいが、諸説あるとされている。一説では1875年、「小学校は町村ごとに統合し、学校名は『町・村』を外した地名にするよう」明治政府が指示したことを受け、町を街にして提出された名前が認められたという。また元町以外に様々な町の子どもたちが通っているから「街」にしたという説などもある。

児童主体で行われた記念集会の様子（11月25日）

現在の元町プラザ付近にあった増徳院境内の「元街学校」＝同校提供

◀背中に校章が輝くエイサーの衣装。来年の運動会から使われる

150周年の記念品の一部を紹介！

▶もまっちがデザインされた元町キタムラのバッグ。社長が卒業生である縁で制作を支援

全校児童で作り上げた巨大な「しましまアート」

制作時の様子

「山手の丘から見えるみなとみらい」「元町のフェニックスアーチ」「中華街のランタン」と3つのモチーフの周りに、児童が思い思いの絵を描いた

卒業生が思い出の舞台に

横浜ゆかりの音楽劇披露

出演した土屋さん（前列左）

「創立150周年記念音楽劇鑑賞」が11月8日、同校体育館のステージで行われた。

横浜の歴史や文化を知り、まちや学校を一層好きになってもらいたいと企画されたもの。

横浜を中心に活動している「音楽劇団まっかなホント」が、横浜にゆかりのある作品を披露。

1～3年生は『赤い靴の絵本』を、4～6年生は『青い目の人形』を鑑賞した。

当日は、2作品の原作者である松永春さんも観劇し、学校へ絵本を寄贈した。

劇の出演者の1人である土屋舞喜さん（20）は、2015年度の卒業生。高学年の時には、所属していた委員会の活動で、おすすめの本を劇にして集会で発表したことがあったという。

久しぶりに母校の舞台に立った土屋さんは、「きれいになった床以外は特に変わっておらず、当時を思い出して懐かしくなりました」と話していた。

在学中は、運動会で応援団をしたり、特設音楽クラブに参加したり、イラストのクラブを立ち上げるなどさまざまなことに取り組んでいたという。土屋さん。後輩へ「自分が興味があることは恐れず挑戦していってほしい」とエールを送る。

クローズアップ

生演奏で母校をお祝い

同級生2人が祝賀会で披露

榎本さん（左）と土屋さん

元街小150周年記念祝賀会のアトラクションとして演奏を披露したピアノの榎本響さん（21）とバイオリンの土屋優喜さん（同）も、元街小の卒業生だ。

式典では、元街小周辺が舞台の作品で、在学中によく歌ったというジブリアニメ『コクリコ坂から』の『さよならの夏』や榎本さんが作曲したというオリジナル曲など全4曲演奏された。

音楽クラブに所属

同級生だったという2人は、共に特設音楽クラブに所属。リコーダーやピアニカなど好きな楽器を演奏して楽しんでいたという。

小学校時代の思い出を聞くと「下庭のすべり台やアスレチックでよく遊んでいました」と榎本さんは「校長先生と話すのが大好きだったので、昼休み中によく校長室に遊びに行っていました」と振り返る。

1年生の時には横浜開港150周年を、5年生の時には同校140周年を在校生としてお祝い。そして成人した今、卒業生として母校の150周年記念祝賀会で、自分たちの音楽を披露することができた。「演奏者としてこの場に立てて本当に嬉しい。夢を諦めずに続けていてよかった」

祝賀会の様子

温かい見守りと支えに感謝

実行委員長　増田朗

元街小学校創立150周年おめでとうございます。横浜が開港した1859年からわずか14年後、本校は誕生しました。それ以降、町と学校が連携して多くの「元街っ子」を輩出されました。150年はあっという間でも通過点。これからも地域と保護者と学校が連携し、「まちへ、世界へ、未来へ 羽ばたく子どもたち」を育て上げてくれればと思っております。

改めまして元街小学校創立150周年にあたり校長先生をはじめ教職員の皆さま、PTA会員及びPTA役員の皆さま、実行委員の皆さま、そして各町内会会長をはじめ地域の皆さまには温かいご支援とご協力を賜り御礼申し上げます。

ふるさと愛す学校に

学校長　工藤雅彦

栄えと歴史と伝統のある元街小学校の創立150周年という記念すべき大きな節目の年を迎えることができました。

初代校長より明治、大正、昭和、平成、令和と時代は流れ、私で37代目となりますが、学校長という立場でこの瞬間に立ち会えることを大変嬉しく思うと同時にその重責をひしひしと感じております。

学校とはその地域の人々の物で、そこに集う子どもたちやかかわる大人たちの成果物そのものです。今後も子どもたちがふるさと元街を愛し、豊かな国際感覚をもち、未来を自ら創造し生きる力を育んでいけるよう、教育活動を取り組み続けたいと思います。

記念祝賀会の様子（11月25日、ローズホテル横浜）

横浜市立元街小学校　創立150周年　おめでとうございます
―順不同―

創立145周年　日本テニス発祥の地
公益社団法人
横浜インターナショナルテニスコミュニティー
代表理事　室賀達郎
TEL 045-681-9528

創立150周年 おめでとうございます
山下町町内会　元町自治運営会
柏葉町内会　山手東部町内会
山手西部自治会
上野町三・四丁目妙善寺台町内会
一同

創立130周年実行委員長
故・常光日出男
常光雅人（昭和51年度卒）
―石川町駅前郵便局―

横浜 元町 香炉庵
横浜市中区元町1-40　☎045-663-8866

TAKARADA
横浜元町タカラダ
代表社員　宝田博士（1985年度卒）　宝田匡良（1987年度卒）　宝田慶子（1990年度卒）
中区元町3-118　☎045-641-0057
https://takarada.co.jp

Kitamura. J-126 MOTOMACHI

元町小学校150周年おめでとうございます
元街っ子の健やかな成長を応援します！
中区山下町276　ひとみ薬局

かんない駅前眼科クリニック
院長　福永　ひろ美
横浜市中区真砂町3丁目38-4
045-662-8680

古川耳鼻咽喉科医院
伊勢佐木町4丁目交番裏
(045)261-7974
従業員募集中

元町中華街・内科
陽和クリニック
中区山下町185　TEL 045-681-5117
https://yowaclinic.jp/

武松事業デザイン工房株式会社
これからの時代に適応できるかたちに再編し、新機軸を見出す。

かつれつの老舗
勝烈庵
代表取締役社長　本多 初穂
（1978年度卒）

横浜女学院中学高等学校
横浜学院幼稚園

Onez（ワンズ）
小・中学生専門 個別指導塾
横浜市中区山下町60-1　TEL：045-664-5325
URL：WWW.Onez-edu.com

KUMON
公文式元町教室
横浜市中区元町1-18石川ビル2階
090-6196-9615

学校法人三育学院
横浜三育幼稚園
〒231-0862 横浜市中区山手町32
TEL 045-641-1903

個性あふれるJR石川町駅周辺100店舗
ひらがな商店街
☎045-264-8370
www.hiraganashoutengai.net/

YOKOHAMA MOTOMACHI Craftsmanship Streets
元町クラフトマンシップ・ストリート

045-641-6532
中区石川町2丁目60番地

手芸・服飾材料専門店
㈱大島屋商店
中区石川町1-15（元町交差点）
045-641-4514

株式会社アトマール
代表取締役　大森 雅巳
（150周年記念実行委員会副委員長）
At Mar Ltd.
中区山手町13－4　☎045・567・0823

元街小学校創立150周年記念暗号クイズ
CONGRATULATIONS
15.13.5.4.
5.20.15.21
ヒント：ABC
正解はコチラ
イルム元町スクール
ベンキョウ学童®と受験指導

小学校受験運動教室
KIKUTA METHOD
横浜市中区元町5-203
元町スカイビル6F

建築用板硝子工事一式
南雲ガラス株式会社
横浜市西区中央1-28-13
Tel.045-565-9570

恵びす温泉
営業時間 11:00～25:00（年中無休）
〒231-0023横浜市中区山下町161
☎045-641-3426

Somm Jewelry
so many men, so many minds
【ソムジュエリー】ジュエリーアトリエショップ
ジュエリーのことならなんでもご相談ください
横浜市中区元町1-13 元町プラザ2階　TEL：045-263-6637

株式会社
横濱屋
代表取締役　山本 宗男
（元PTA会長）
横浜市南区宮元町4-93　www.yokohamaya.co.jp/

創業115年　年間1,100件の葬儀施行実績
式典船山博善社
代表取締役　中島 勤（100期生）
本社・横浜市中区山下町161-1
元町営業所（エンディングサロン元町）
横浜市中区元町5-214
TEL・0120-210-442

JR石川町駅元町口を出てすぐ、港へつながる玄関口。
石川商店街
（アイ・キャナルストリート）
TEL：045-641-4516
i-canal street
商店街情報はこちら
JR石川町駅　中村川　横浜中華街　元町口（南口）　アイキャナルストリート　元町ショッピングストリート　元町・中華街駅　みなとみらい線　1本牧

MOTOMACHI
“変わらない想い。変わっていくストーリー。”
協同組合 元町エスエス会　https://www.motomachi.or.jp
〒231-0861　横浜市中区元町1丁目14番地　TEL 045-641-1557

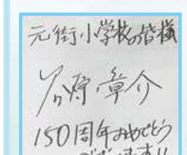
元街小学校の卒業生で、俳優の谷原章介さん（51歳・85年度卒）からお祝いのメッセージが届きました！

元街小学校在校生の皆さん、150周年おめでとうございます。

僕が小学校に通っていた時は、ちょうど110周年。今から40年も前で、確か校舎を立て直したばかりでした。転校生だった僕は「すごくきれいな学校だな」って思ったのを今でも覚えています。グラウンドがラバー（ゴム）だったんですよ。それまで土のグラウンドだったので、「なんて都会的なところなんだ」って本当に驚きました。

また港町横浜ということで、中国の方、東南アジアの方、朝鮮の方、いろんな国籍の方が学校にいました。分け隔てなく、その人のバックグラウンドの話などを共有していた思い出があります。

転校生はすごく不安なんです。そんな僕を受け入れてくれた。横浜は開放的で、新しく入ってきた人を受け止めてくれる、度量のある地域・学校だったなとすごく思っています。これからもそういう素敵な校風をみんなで大事にして楽しんでください。



僕は何よりも頑張ることも大事だと思うんですけれども、楽しむことが一番大事だと思います。これから素敵なこと、たくさん楽しみなことが待っていると思います。楽しんで！学校生活を！そして中学、高校、大人になっていってください。本当におめでとうございます。

元街小学校キャラクター　もまっち

もまっちはリスがモチーフ
リスは「元街っ子」の明るく元気なイメージ
たまに下庭の木で見かける

もまっち原案者：港中学校 1年 布施杏果さん
（2022年度 卒業生）

2022年度の11月からクラスで150周年キャラクターを作る活動をしました。プロのデザイナー「安西美和」さんに指導してもらいました。相鉄線のキャラクター「そうにゃん」を作った方です。クラスのみんなでアイデアを出し合い、何度も考え直してデザインしていきました。
元街小の特徴をたくさん取り入れてキャラクターを作りました。元街小への思いを込めて作ったので、150周年のお祝いを「もまっち」と一緒に、盛大に盛り上げてくれたらうれしいです。